

三宅町が「恋人の聖地」に

地域活性化支援 センターが認定 県内で2カ所目

NPO法人地域活性化

支援センター（静岡市）が、平成18年から認定している「恋人の聖地」に三宅町が新たに選ばれ5月29日、志野孝光町長に同センターから銘板が手渡された。

クなスポットを選定しているもの。これまで全国125カ所が認定されている。

県内では「大神神社・大美和の杜」に次いで2カ所目で、認定は4月1日付。

同町は「歴史と愛の町、屯倉（みやげ）」として町全域を対象地域に応募。「三宅の原」が万葉集の恋の歌とし

て詠まれ、歌に登場する「あざさ」が町の花になっている。万葉の時代は付近の湿地に咲き乱れていたと考えられるが、現在は準絶滅危惧種。町は住民らと協力し、役場前や、町保健福祉施設「あざさ苑」などの人工池で栽

培している。同町伴堂に建てられている万葉歌碑の前にも小さな人工池があり、歌碑の隣に銘板を設置する予定。同町は「これを機に『愛のまち』として、さらに町をPRしたい」と意気込んでいます。



「恋人の聖地」の銘板を手にする三宅町の志野孝光町長（中央）＝5月29日、東京都港区の六本木ヒルズ（同町提供）